

第46回 札幌支部高等学校柔道春季大会 要項

- 1 主催 札幌柔道連盟 北海道高等学校体育連盟札幌支部
- 2 主管 北海道高等学校体育連盟札幌支部柔道専門部
- 3 期日 令和6年 4月27日(土)
- 8時00分 開場
- 8時10分 会場設営
- 9時10分 男女計量(～9:40)
- 9時45分 顧問・審判会議
- 10時00分 開会式
- 10時20分 女子団体・男子3人制団体試合開始
- 13時00分 男子5人制団体試合開始
- 16時00分 試合終了(予定)
- 令和6年 4月28日(日)
- 8時00分 開場
- 9時30分 女子個人試合開始
- 12時00分 男子個人試合開始
- 16時00分 表彰式・閉会式
- 17時00分 試合終了(予定)
- 4 会場 千歳市開基記念総合武道館
千歳市あずさ1丁目3-1 TEL 0123-22-2100
- 5 参加資格
- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
 - (2) 北海道高等学校体育連盟に加盟している生徒であること。
 - (3) 北海道高等学校体育連盟の主催大会参加者災害補償制度に加入している者、または、加入意志のある者。
 - (4) 令和6年度札幌柔道連盟・全日本柔道連盟に登録している者。また、登録予定の者。
 - (5) 平成17年4月2日以降に生まれたもの。
 - (6) 当該学校に在籍の生徒であること。但し、同一学年の出場は1回限りとする。
また、新1年生の出場については事故防止等に配慮し参加を検討すること。
 - (7) 全日制・定時制の混成チームは認めない。
 - (8) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。監督は校長の認める当該校の職員または指導者とする。監督については、校長から委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
 - (9) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守すること。
 - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること)
 - ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - エ 当該選手の指導者は大会事務局および北海道柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
 - (10) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

6 競技規則

- (1) 試合は、国際柔道連盟試合審判規定による。(2022-2024)
- (2) 試合時間は3分とする。延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。
- (3) 団体試合(5人制・3人制)
 - ア 団体試合は「一本」「技あり」、または「僅差(指導差2)」以上とする。チームの内容が同等の場合は、その対戦に出場した選手の中から代表戦を行う。5人制は、任意に選出して代表戦を行う。3人制は、引き分けの中から抽選で代表戦を行う。
 - イ 代表戦の判定基準は、「技あり」または「僅差(指導2)」以上とし、両試合者に得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
 - ウ 男子団体は5人制または3人制のどちらかに1チームが出場することができる。
- (4) 個人試合
 - ア 個人試合は「技あり」、または「僅差(指導差2)」以上とする。技による評価が同等および指導差1以内の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
 - イ 延長戦(ゴールデンスコア)の判定基準は、「技あり」以上または「指導」の差により勝敗を決する。
- (5) 団体試合の代表戦及び個人試合において、両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
団体試合の代表戦及び個人試合において、両試合者が「指導」の累積による同時「反則負け」の場合は、スコアをリセットして延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。

7 競技方法

- (1) 団体試合[3人制・5人制]
 - ア 参加校を3~4校ごとに分けリーグ戦を行い、1・2位校は決勝トーナメントに出場する。(参加校数により変更する場合もある)
 - イ 各チーム間の試合は点取り試合とする。勝敗の決定は次による。
 - I 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - II Iで同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
 - III IIで同等の場合は「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
 - IV IIIで同等の場合は代表戦を行う。(競技規則(3)ア 参照)
 - ウ 5人制団体試合は各チーム3名以上で行い、試合毎のオーダー変更は行わない。
3人制団体試合は各チーム2名以上で行い、試合毎のオーダー変更は行わない。
団体試合で欠員がある場合は後ろ詰めとする。試合中の負傷等により次の試合に欠場する場合も後ろ詰めで行う。
 - エ 全ての試合において、同点同内容の場合は代表戦を行う。
 - ※ 代表戦で「指導」の累積により同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットし再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。
- (2) 個人試合
 - ア 試合は体重別トーナメント法によって行う。
 - イ 男子は100kg超級・100kg級・90kg級・81kg級・73kg級・66kg級・60kg級の7段階とする。
 - ウ 女子は1部(7階級) 78kg超級・78kg級・70kg級・63kg級・57kg級・52kg級・48kg級、女子2部(体重無差別)とする。
(女子1部の階級別については、参加人数により階級をまとめて実施する場合がある)
 - ※女子2部(体重無差別)については、高校入学後から柔道を始めた生徒などの試合経験を積ませることなどを目的とする。
 - 女子2部への参加条件は次のとおりとする。
 - ①無段の者。
 - ②初段取得後1年までの者。
 - ③試合ができるだけの経験がある者。

- 8 チーム編成 (1) 団体試合 [男子5人制]
監督1名・正選手5名・補欠2名の計8名をもって編成する。
※正選手3名以上でエントリーを認める。
[男女3人制]
監督1名・正選手3名・補欠1名の計5名をもって編成する。
※正選手2名以上でエントリーを認める。
- (2) 個人試合 [男子] 各階級合わせて一校20名以内とし、同一階級のエントリーに
枠を設けない。
[女子] フリーエントリーとする。
- 9 抽選組合せ 4月22日(月)札幌支部柔道専門部会を開催し専門委員による組合せ抽選を行う。
※組合せは4月23日(火)に「北海道高体連柔道専門部HP」に掲載予定。
- 10 参加申込み (1) 申込み方法
北海道高体連柔道専門部HPより札幌支部高等学校柔道春季大会申込のページに入り、
「参加申込書(団体・個人)」をダウンロードし記入例を参考に申込書を作成する。
次の①、②の要領で手続きをする
① 申込書を印刷後、公印を押印のうえ、大会事務局へ郵送する。
② ①で作成した申込データをメールで件名に「〇〇高校春季大会申込」と入力し
て下記大会事務局へ送信すること。
- (2) 申込先
〒063-0833 札幌市西区発寒13条11丁目3番1号
北海道札幌琴似工業高等学校内
札幌支部高等学校柔道春季大会事務局 堀川 徳彦 宛
TEL 011-661-3251 FAX 011-661-3252
※ E-mail horikawa-norihiko@hokkaido-c.ed.jp
- (3) 締め切り 令和6年4月18日(木) データ必着
令和6年4月19日(金) 郵送必着 (校長印を押印した申込書)
※期日までに提出がない場合は出場を認めない。(年度初めのお忙しい時期ですが、早めに申込み準備をするように)
- 11 参加料 団体試合1チーム10,000円、個人試合は男女とも1名につき1,000円を、試合当日に大会事務局に納入のこと。
- 12 参加上の注意 団体試合参加校は、規定のカード(各校で用意)に校名、選手名を記入して大会当日持参すること。[カードは対戦表の掲示に使用する。]
※申込シートにある「団体名票」を使用すること。
- カード作成・提出について (カードは申込書の入力でも作成されます)
①上質用紙をA4サイズで横に半分(縦21cm・横13cm)に切り、参加者枚数分(選手変更含む)を用意する。
②下記の記入例を参考にして、校名・選手名(姓)を書き入れる。
③作成したカードは学校名入りの封筒に入れ受付に提出する。

【カードの記入例】

選手名は申込書と一致すること。表右上隅に「〇〇高校」←学校名がわかるように押印



1 3 連絡事項

(1) 団体試合参加者の変更について

- ア 申し込み後、参加者に変更が生じた場合は学校長の承認（所定の様式）により、大会当日の監督会議までに専門部へ提出する。
- イ 選手の変更は1名を限度とする。変更の際には補欠を優先して選手登録を行い、新たに変更した選手は補欠に入るものとする。また、選手配列の変更は認めない。

(2) 未登録者及び新1年生については支部大会までに登録手続を取ることで参加を認める。

(3) 必ずゼッケン（所定の様式）の付いた柔道衣を着用する。※新一年生で大会までにゼッケンが間に合わない場合は旧所属のゼッケンでも可とする。

(4) 女子個人試合で、参加者が少ない階級は専門部で検討し、2階級以上を併せて実施する場合がある。

(5) 女子のTシャツは、色は白、半袖丸首であること。製造業者マークは、最大20cm²のサイズであれば認められる。柔道着を着用した際に、製造者マークが見えてはならない。

(6) 会場の使用についてはマナーを守り、破損したり汚したりしないよう各校で充分注意のこと。

(7) 会場の設営及び撤去作業については指示された学校で行う。

(8) 全日本柔道連盟登録・札幌柔道連盟登録については、春季大会顧問会議で登録手続きについての説明を行う。

(9) プログラムの配布はしません。各校で「北海道高体連柔道専門部HP」からダウンロードして持参するようにご協力をお願いします。